

チーム（監督者）の衛生管理および安全管理

チーム健康管理・観察

徹底した感染予防対策と健康管理（毎日の検温と記録）

体調不良や異変を感じたら、大会に参加させない

チーム共通理解

会場への移動は、各自による現地集合、現地解散が望ましい

いかなる場所においても、ミーティングや打ち合わせをする際は、マスク着用もしくは2 m以上の間隔を確保したうえで行う

ベンチ内ではマスク着用のうえ、最低1 mの間隔をとる マスク不着用の場合は会話を控える

チームとして用具の共用は極力行わない

ただし、共用せざる得ない用具は、必ず使用前後にアルコール消毒を行う

試合中、守備側による打ち合わせは、投手サークルの外側で1 m間隔にて行う

試合中、攻撃側によるベンチ前での円陣は禁止とする

監督によるタイム・抗議の際は、審判と2 m以上離れて行う

試合進行上（審判等）の衛生管理および安全管理

原則 2020年度オフィシャルソフトボールルールとし、大会ごとの特別ルールを設けることができる

球審のマスクはとって試合をしてもよい

球審が使うボールケール・刷毛等の用具は事前に消毒しておくこと

試合開始前、両チームによる整列・挨拶は自チームベンチ前に1 m間隔にて横一列に整列し、審判の合図により挨拶を行う

ファウルボール等で、守備者以外が触れたボールはアウトボールとし、消毒する

投手用ロジンは各チーム、各投手が用意したものを使用する（投手間の共用は厳禁）

打者のヘルメットやバットは守備側の選手は触れないようにする

試合中、守備側による打ち合わせは、投手サークルの外側で1 m間隔にて行う

試合中、攻撃側によるベンチ前での円陣は禁止とする

監督によるタイム・抗議のときは、審判と2 m以上離れて行う

試合終了後の両チームによる挨拶は、開始時と同様に行う

グラウンド整備を行うときは、マスクを着用する（役員・選手同様）

ガイドラインになかったものは、審判委員会のガイドラインにて行うこと

5 運営側の衛生管理および安全管理

- ・ マスク着用の義務化（熱中症対策のため、こまめに水分補給を）
- ・ マスクを外す場合は、人との距離を必ず2 m以上確保する
- ・ マスク着用時も、人との接触1 m以内は避け、直接肌が触れる行為は厳禁と
- ・ マスク着用にて会話をする場合も大声で話さない
- ・ 他人と物品の共用はしない（湯茶接待、筆記用具等）
- ・ 常に身の回りの物をこまめに消毒をする（テーブル・椅子・使用物等）
- ・ 受付担当者マスク・フェイスシール・手袋（使い捨て用）の3点を用意しておく
- ・ 湯茶の接待は行わず、飲み物は事前に購入し準備しておく（要消毒）
- ・ 咳や痰を吐かない。鼻や口で使ったティッシュペーパーやゴミは各自持ち帰る

6 選手・スタッフの衛生管理および安全管理

☆ マスク

- ・ マスクの持参と着用
- ・ プレイ中以外はマスクを着用（ベンチ内・会話・グラウンド整備時等）
- ・ ソーシャルディスタンスの理解と徹底

☆ 自己管理

- ・ 徹底した感染予防対策と健康管理（毎日の検温と記録）
- ・ 37.5℃以上の発熱、体調不良や異変を感じたら、大会に参加しない

☆ ソーシャルディスタンス（社会的距離2 m） ➡ プレイ中は最低1 m以上

- ・ 人にむやみに近づかない、人が近づいてきたら自ら離れる
- ・ 自主自律の確立（自分のことは自分です） ➡ 他者による物の受け渡しをしない
- ・ 握手・ハイタッチ・ハグ等、他者との接触を避ける
- ・ 野手はプレイ以外ではピッチャーサークル以内に入らない
- ・ 用具の個人使用（グラブ・バット・ヘルメット等 自分の物を使用） ➡ 共用しない
- ・ 共用用具 使用前後における、徹底したアルコール消毒の励行
- ・ プレー中の会話は、最低1 m以上の距離を確保し、手・グラブ・帽子・ヘルメット等で口を覆う
- ・ 咳や痰を吐かない
- ・ 飲み物は各自持参、飲み回しやコップの共用はしない
- ・ ロジンは投手一人での使用とし、他投手や野手と共用しない 打者用も同様とする